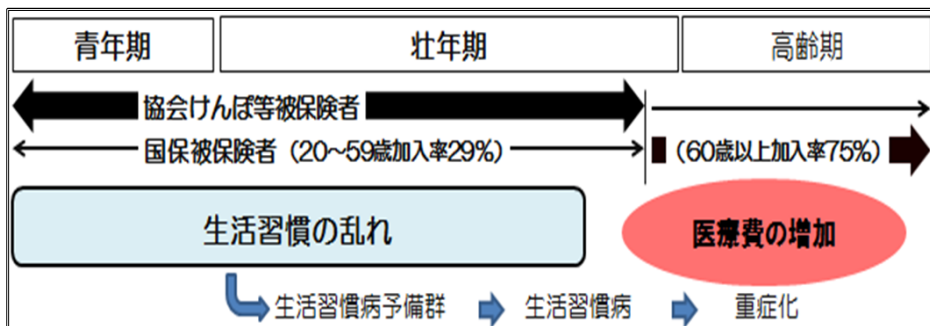


現状・課題

- 大阪府の企業構成の特徴：中小企業数が多い（東京に次いで第2位）
- 事業所規模が小さいほど定期健診実施率が低く、健康教育の場も少ない
- 協会けんぽ大阪支部加入者は約307万人
- 協会けんぽ大阪支部の特定健診受診率：24.9%（全国最下位）  
大阪府の特定健診受診率：40.5%（全国第40位）
- 壮年期に健康づくりに取り組まないと、高齢期に国保、後期高齢者医療制度に移行後、生活習慣病の発症、重症化のリスクが高まる。
- 壮年期（=協会けんぽ被保険者の時期）に生活習慣病予備群にしないことが重要



事業内容

- 1 中小企業労働者等の健診の受診促進
  - ・協会けんぽの特定健診データを収集し、業種別等の比較解析
  - ・「府政だより」等を活用し、被雇用者のみならず家族など府民の受診も促進
- 2 事業者・健康管理担当者への健康セミナーの開催
  - ・商工労働部と連携して商工会・商工会議所に働きかけを行い、事業者等に対して健康経営等をテーマとした健康セミナーを開催し事業者の取組みを推進
- 3 「大阪府健康づくりアワード」の創設
  - ・生活習慣病予防の啓発活動及び健康寿命の延伸につながる優れた取組みを行っている事業所を表彰
  - ・受賞した好事例の周知を行い、同様の取組みを拡大

短期的効果

- 協会けんぽ被保険者（32%）と市町村国保被保険者（44%）とあわせて府民の76%の健康動向が把握でき、府・市町村の健康づくり推進に活用する
- 協会けんぽとしての取組み、各企業の取組みを促進する

長期的効果

- 壮年期のうちに府民の生活習慣の改善を図ることにより将来の高齢者の生活習慣病の発症、重症化を防ぐ
- 将来の国保、後期高齢者医療保険制度への負荷を軽減する

目標

- 平成29年度までに協会けんぽ大阪支部の特定健診受診率を70%向上させる  
(H24: 24.9% ⇒ H29: 42.3%)